

第4回次世代地盤改良技術に関するワークショップ
(4th New Ground Improvement Technique 2013: NGIT2013)

主 催：独立行政法人 土木研究所寒地土木研究所
共 催：公益社団法人 地盤工学会北海道支部
後 援：一般社団法人 資源・素材学会北海道支部
公益社団法人 土木学会北海道支部

地盤改良で求められる効果が、地盤の固化や補強、土壌の中和等、現場によって多様化しています。また、既設構造物の直下や管等の多くの構造物が埋設されている地盤の改良が必要となり、従来の地盤改良工法だけでは困難な状況も出てきています。そのような最中、地盤工学と生物学や化学の分野を融合させた次世代の地盤改良技術に関する研究開発が進められています。

そこで、全国からこの分野に精通した研究者や技術者にお集まりいただき、「第4回次世代地盤改良技術に関するワークショップ」を下記のとおり開催いたします。本ワークショップに参加をご希望される方は、2013年7月19日（金）までに下記の連絡先までお申し込み下さい。ワークショップの参加費は無料です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

記

- ・ 日 時：2013年7月31日（水）13:00～17:35
- ・ 場 所：独立行政法人 土木研究所寒地土木研究所 講堂
〒062-8602 札幌市豊平区平岸1条3丁目1-34
<http://www.ceri.go.jp/contents/access/index.html>
(地下鉄南北線中の島駅1番出口より徒歩3分)
- ・ プログラム：
 - 13:00～13:05 開催挨拶
 - 13:05～17:30 (途中休憩あり) 話題提供予定 (五十音順)
 - 稲垣由紀子(土木研究所)：微生物の違いが土の固化状況に与える影響に関する検討
 - 金山素平(九州大学)：カキ殻を利用した土の微生物固化処理技術に関する基礎的研究—マイクロインデンターを用いた固化処理土の強度評価—
 - 北島洋二(鹿島建設)：有機反応を利用したビーチロック形成の促進技術研究
 - 佐々木翼(東京大学大学院)：細粒分混じり砂の微生物固化(仮)
 - 重松宏明(石川高専)：貝殻由来の炭酸カルシウム結晶析出法による土の強度発現効果
 - 高畑陽(大成建設)：バイオポリマー生成細菌を用いる地盤改良の検討
 - 谷川友浩(竹中土木)：被災地復興における微生物機能活用に関する研究
 - 塚本将康(川崎地質)：微生物代謝により改良した砂の強度・変形特性
 - 角田百合花(強化土エンジニアリング)：微生物を用いた地盤改良技術における研究開発の近況
 - 中條邦英(応用地質)：微生物機能による酸性土壌の中和促進技術と法面緑化に関する検討
 - 林和幸(和歌山高専)：砂の力学特性に及ぼす結晶性膠着物質の養生効果
 - 安原 英明(愛媛大学)：生体触媒機能を活用したグラウトの性能評価
 - 17:30～17:35 閉会挨拶
 - 19:00～21:00 意見交換会(場所は札幌市内、参加費などの詳細は未定)
- ・ 申込み・問合せ先：独立行政法人土木研究所寒地土木研究所
寒地基礎技術研究グループ寒地地盤チーム
主任研究員 佐藤 厚子
TEL：011-841-1709 FAX：011-841-7333
e-mail：atsuko@ceri.go.jp